



PUMA[®]
ISO 9001

取扱説明書

エアーコンプレッサー

AB20-30



この度は、**SK11** 商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい使用方法を理解してください。

誤った使用法は、事故や故障の原因となります。

取扱説明書は大切に保存し、必要な時にお読みください。

エアークンプレッサー AB20-30 取扱説明書

目次

1.製品仕様	1
2.安全上のご注意	2
3.その他のご注意	3
4.各部のなまえ	4
5.ご使用方法	5
6.保守・点検	7
7.故障かな?と思ったら	8
8.分解図・部品表	9

1. 製品仕様

(注：0.1MPa 1気圧 1kgf/cm²)

品名/型式	エアークンプレッサー / AB20-30		備考
電動機のサイズ	1.5kW		
空気圧縮方式 / 潤滑方式	往復動ピストン式 / オイルバス式		
周波数	60Hz	50Hz	
回転数	3440rpm	2900rpm	
吐出空気量 (L/min)	125	105	0.6MPa時
最高圧力	1.0MPa		圧力スイッチoff
再起動圧力	0.8MPa		圧力スイッチon
スターティングアンローダ	停止時吐出管減圧+アウトレットバルブ		
エアータンク容量	30L		
吐出口サイズ	1/4" ワンタッチクイックカプラ		
定格電圧	AC100V		
消費電流	12A	11A	連続運転時
消費電力	1200W	1050W	連続運転時
電源コード	2mm ² x 約2.8m		
本体乾燥質量	34kg		
本体寸法 (L x W x H)	660 x 360 x 615mm		
梱包箱寸法 (L x W x H)	670 x 380 x 700mm		

吐出空気量は標準大気圧 (20℃、0.1MPa) に換算した値です。

性能向上などのため仕様などを予告なく変更することがあり、この表の内容が商品と異なることがありますのでご了承ください。

2. 安全上のご注意

この取扱説明書及び本体に貼り付けたラベルには、安全に関する重要な注意事項を、**⚠ 警告**、**⚠ 注意**のマークを使用して表現しています。製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

⚠ 警告 と **⚠ 注意** の意味は次の通りです。

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡や重傷などの重大な結果または傷害に結び付く可能性があります。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、製品の故障や家屋・家具などの物的損害に結び付く可能性があります。

1. エアーコンプレッサー使用上のご注意

⚠ 警告

このコンプレッサーの圧縮空気にはオイルや小さなゴミなどの不純物が混じっていますので、人の呼吸用やペット水槽の送気用など人体や動物用には使用しないでください。

作業場所には関係者以外は近づけないでください。特に子供は危険な行動をとることがあるので近づけないように注意してください。

塗装や洗浄作業を行う場所に十分な換気が得られるように、窓や入り口を開放してください。又、引火性の溶剤や洗浄液を使用する場合は、火気の発生源（電気機器、エアーコンプレッサー、ガソリンエンジン、火の付いたタバコ、ストーブ、焚き火など）を塗装や洗浄作業を行う場所から引火の恐れがない所まで遠ざけてください。

40 以上の高温物には、塗料や洗浄液を吹き付けしないでください。

溶剤や洗浄液が気化して引火の恐れがあります。

塗料や洗浄液によっては、人が吸入すると有害な成分を含んでいる場合がありますので、塗料や洗浄液のラベルや説明書を良く読んで、その指示にしたがってください。

圧縮空気は人の身体や動物に向かって吹かないでください。吹き出す空気の勢いは非常に強いものですので、特に顔や目などは絶対に近づけないでください。

また、圧縮空気には水分、油、ゴミなどが混じっていますので有害です。

空気を吸込む力も大変強力です。運転中はエアクリナーの吸込み口を触らないでください。

エアー工具の最高耐圧以上の圧力で使用しないでください。

圧力が高すぎると工具が変形したり部品が飛び出したり破裂したりする恐れがあります。

作業の時には、必ず保護メガネを着けてください。

また、作業環境によっては、保護マスク・保護帽・安全靴・耳栓なども使用してください。

塗料や溶剤や洗浄液が目に入った時は、清潔な水で目を洗い、直に医師の手当を受けてください。

このコンプレッサーはシングル絶縁構造です。感電事故防止のため接地（アース）してご使用ください。

尚、アース線をガス管に接続するとガス爆発の恐れがあるので絶対に接続しないでください。

また、接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源への接続をおすすめします。

圧力スイッチおよび安全弁は規定圧力で作動するように調整済みですので、設定値を変更しないでください。

みだりに変更すると圧力が上がり過ぎて、エアー漏れしたり破裂する恐れがあります。

このコンプレッサーは、雨や水に濡れる場所には設置しないでください。

電気製品ですから感電する恐れがあります。

このコンプレッサーは、火気が禁じられた場所には設置しないでください。

電気接点から火花が出ますから引火する恐れがあります。

⚠ 注意

このコンプレッサーは、水平で平らな堅い床面で、換気が良く湿気やほこりの少ない所に設置してください。また、横置きはしないでください。

オイルバス式潤滑方式ですから焼き付きやオイルもれの恐れがあります。

このコンプレッサーは、壁などから30cm以上離してください。また、コンプレッサーの放熱を妨げるような覆いやダンボールを被せて運転しないでください。空気冷却式ですから風通しが悪いと過熱する恐れがあります。

3. その他のご注意

1. ご使用前のお願い

△ 注意

コンプレッサーオイルは注入済みです。オイル注入口のキャップは、オイルもれ防止のため空気穴のないキャップがついています。付属のオイルゲージ（空気穴つき）と交換してください。
そうしないと、オイル室内の圧力が上昇して空気穴のないキャップが飛び出すことがあります。
また、ピストンとシリンダーの間からのオイル上がり量が増加して、取出しエアに大量のオイルが混じることがあります。
さらに、再起動ができなくなるなど、コンプレッサーが正常に回転しないこともあります。

2. 電源についてのお願い

△ 注意

このコンプレッサーの電源は100V単相です。起動時には定格消費電流の約3倍位の電流が必要ですので、コンセントの電気容量が不足するとコンプレッサーが正常に回転しないことがあります。
15A以上のコンセントを使用してください。20Aコンセントの使用をお勧めします。
正常な回転をしない時は下記の事項を点検してください。
タンク圧力が上がらないようにドレンコックを開けたまゝで、約10分間暖機運転を行ってください。
コンプレッサーの温度が上がって消費電流が減少します。
コンセントがいくつかある場合は、電力メーターや分電盤にできるだけ近いコンセントを使用してください。
コンセントから延長コードを使用する場合は、2.0mm²以上のコードを10m以下または3.5mm²以上のコードを20m以下で使用してください。コードを長くするとコンプレッサーまでの間で電圧が下がってしまうので、正常に回転しないことがあります。
その他の電気工具をコンプレッサーと一緒に使用すると、電気容量が不足してコンプレッサーが正常に回転しないことがあります。その時は一旦、コンプレッサーを止めて電気工具だけで使用してください。

3. エアー工具使用上のご注意

△ 注意

エアーインパクトレンチ、エアーラチェットレンチ、エアー釘打機、エアータッカー、エアードリル、エアーグラインダーなどのエアー作業工具を使用される場合は、潤滑オイルの注油を忘れずに行ってください。
注油を怠ると、エアー作業工具が焼き付くことがあります。
詳しくは、エアー工具の取扱説明書を良く読んでその指示に従ってください。
エアーダスター使用の際に、吹き付け対象物にオイル、水分、ゴミなどが付着してはいけない場合は、エアー配管の途中に空気清浄器を設置して、吹き付け空気をきれいにしてください。
スプレーガン塗装作業の際は、エアー配管の途中に空気清浄器を設置して、このコンプレッサーの圧縮空気に含まれているオイル、水分、ゴミなどを除去してください。
スプレーガン塗装作業の後は必ずスプレーガンを塗料指定のうすめ液で洗浄してください。洗浄を怠ると、スプレーガン内部の通路に残った塗料が固まってスプレーガンが使用できなくなります。
詳しくは、スプレーガンの取扱説明書を良く読んでその指示に従ってください。

4. エアー工具の選定について

コンプレッサーの能力よりもエアー工具の空気消費量が多いと作業が順調にはできなくなります。
次頁の表を目安にエアー工具を選定してください。
尚、この表は一応の目安ですので、エアー工具によってはこの表の通りにならないことがあります。

エアーツ具選定(目安)表

(注: 0.1MPa 1気圧 1kgf/cm²)

SK-11 -Value エアコンプレッサー		AM15-25	AA15-30 AC15-30	AB20-30	備考
仕 様	電動機のサイズ(kW)	1.1	1.1	1.5	
	最高圧力(MPa)	0.8	0.8	1.0	
	再起動圧力(MPa)	0.6	0.6	0.8	
	吐出空気量(60-50Hz) (L/min) 大気圧換算値	70-60	78-65	125-105	0.6MPa時
	エアータンク容量(L)	25	30	30	
工 具	釘打機(丸釘50mm)				コイル状
	釘打機(化粧釘50mm)				板状
ア ー 工 具	タッカー				
	エアダスター				
工 具	タイヤ空気入れ				
	エンジンクリーナー				
工 具	インパクトレンチ(3/8")				
	インパクトレンチ(1/2")				
工 具	小型スプレーガン				塗料容器 300mL程度
	中型スプレーガン				塗料容器 600mL程度
工 具	大型スプレーガン	x	x		塗料容器 1000mL程度
	エアドリル(3/8")				
工 具	エアドライバー(3/8")				
	エアディスクグラインダー(5")				
工 具	エアベルトサンダー				

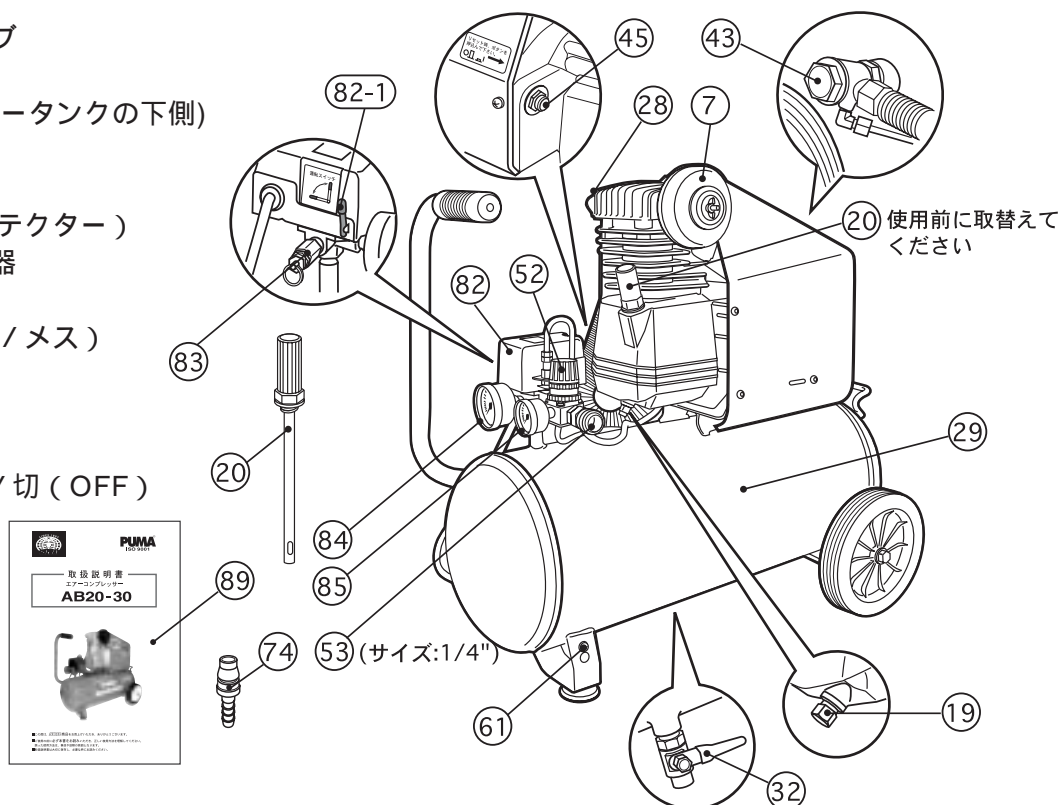
: 連続使用 / : 断続使用 / x : 使用困難

4. 各部のなまえ

- 7: エアークリーナー
- 19: ドレンプラグ
- 20: オイルゲージ
- 28: アウトレットバルブ
- 29: エアータンク
- 32: ドレンコック(エアータンクの下側)
- 43: チェック弁
- 45: リセットボタン
(サーキットプロテクター)
- 52: 取り出し圧力調整器
- 53: 空気取り出し口
(クイックカプラ/メス)
- 61: アース端子
- 82: 圧力スイッチ
- 82-1: 運転スイッチ
自動(AUTO)/切(OFF)
- 83: 安全弁
- 84: タンク内圧力計
- 85: 取り出し圧力計

付属部品

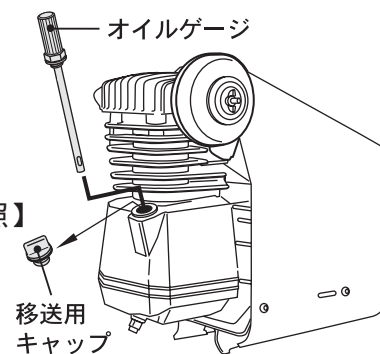
- 20: オイルゲージ(リング付き) 1個
- 74: クイックカプラ(オス/ホースジョイント) 1個
- 89: 取扱説明書(保証書付き) 1冊



5. ご使用方法

1. 組立て

- ・オイル注入口の移送用キャップ（空気穴なし）を外し、付属のオイルゲージをねじ込まずに注入口に押し当ててから引き抜き、油面がオイルゲージ棒の目盛りの「H」と「L」の間にあることを確認します。適正油量は約300mLです。不足していたら補給します。【5.2.(4)項参照】
- ・オイル量の確認が終わったら、Oリングの付いたオイルゲージ（空気穴付き）を注入口にしっかりとねじ込みます。



2. 日常点検

⚠ 警告

点検・整備の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、エアータンクの圧力を開放してください。モーターが急に廻り出したり、外した部品が吹き飛ばされたりする恐れがあります。

- (1) 電源は、AC100V, 60-50Hz, 15A以上のコンセントですか。20Aコンセントの使用をお勧めします。また、延長コードはなるべく使用しないでください。止むを得ず使用する場合は下記を目安としてください。

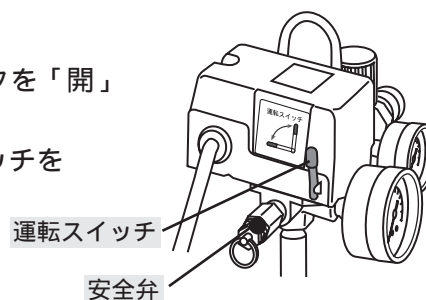
延長コードのサイズ（導体の公称断面積）	2.0mm ²	3.5mm ²
延長コードの長さ	10m以下	20m以下

コードリールはコードを全部引き出してください。コードを巻いたままでは電気容量不足となりコンプレッサーが正常に回転しないことがあります。

- (2) 各締め付け部が緩んでいませんか。異常な音や振動はありませんでしたか。緩んでいたら増し締めします。
- (3) 設置場所は平らでコンプレッサーは安定していますか。振動で移動する恐れはありませんか。
- (4) コンプレッサーオイルは適量ですか。不足していたら、指定オイル（品番：4930345107538）または市販の往復動ピストン用コンプレッサーオイル（ISO 68グレード）を補給します。
- (5) エアータンク内に水が溜まっていませんか。
ドレンコックを「開」（レバー下向き）にして排水してください。
- (6) 電源コードの絶縁被覆が傷ついたり、溶剤などで侵されていませんか。損傷がひどい場合は、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

3. 運転

- (1) 運転スイッチを「切（OFF）」（レバー上向き）にし、ドレンコックを「開」（レバー下向き）にします。
- (2) コンプレッサーの電源プラグをコンセントに差し込み、運転スイッチを「自動（AUTO）」（レバー水平）にするとモーターが始動します。
- (3) ドレンコックを「閉」（レバー水平）にして、タンクにエアーを貯蔵します。



⚠ 注意

コンセントの電気容量が不足すると正常に回転しなかったり、モーター保護のためリセットボタンが飛び出してモーターが停止することがあります。この時は、十分な容量のコンセントに変更してください。リセットボタンはモーターが冷えてから押し込んでください。コンセントを変更せずに、何回もリセットボタンを飛び出させると、サーキットプロテクターが故障することがあります。

- (4) タンク内圧力が約1.0MPaになると、圧力スイッチが働いてモーターが停止します。
（注：0.1MPa 1気圧 1kgf/cm²）
- (5) 安全弁のリングを引っ張るとエアーが放出され、離すとしばらくして放出が止まることを確認します。

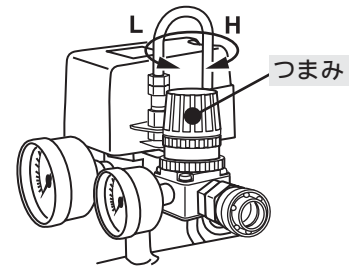
⚠ 警告

吹き出したエアが身体や顔に掛からないように、吹き出し穴の方向などに注意して身体を近づけないようにしてください。

(6) 取り出し圧力の調整を行います。

(タンク内圧力より高くすることはできません。)

- ・取り出し圧力調整器のつまみを、
「L」方向(反時計廻り)に廻すと取り出し圧力が低くなり、
「H」方向(時計廻り)に廻すと取り出し圧力が高くなります。
- ・取り出し圧力計をみながら、使用するエア工具に適した圧力に調整します。
- ・次の表を目安に、エア工具に合わせて調整してください。尚、この表は一応の目安ですので、実際には使用するエア工具の指定圧力に合わせてください。



(注: 0.1MPa 1気圧 1kgf/cm²)

用途・エア工具	調整圧力 (MPa)
コーキングガン、ゴムポートなどの空気入れ	0.1
エアブラシ、自動車タイヤの空気入れ	0.2
塗料スプレー、薬剤スプレー、自動車タイヤの空気入れ	0.3
エアダスター、エンジンクリーナー、エアタッカー、釘打ち機	0.4
自転車タイヤの空気入れ、エンジンクリーナー、エアタッカー、釘打ち機	0.5
フィルターなどの掃除、エアタッカー、釘打ち機	0.6

- ・つまみのすぐ下にあるリングナットはつまみの廻り止めです。圧力調整後、反時計廻りに廻してつまみに軽く締め付けておきます。

(7) 空気取り出し口(クイックカップラ/メス)にエア工具を付けたエアホースを接続します。

(8) これで、圧力スイッチの働きにより、タンク内圧力が約1.0MPaでモーターが停止し、タンク内エアを消費してタンク内圧力が約0.8MPaに下がるとモーターが再起動して、コンプレッサーは自動的にON-OFF運転を行います。

⚠ 警告

運転中は空気の圧縮熱のため、シリンダーヘッド、シリンダー、吐出管などは高温になっていますので注意してください。

(9) コンプレッサーが連続運転しているのにタンク内圧力がエア工具に適した圧力以下にさがってしまう場合は、エア消費量がコンプレッサーの能力以上になっていますので、エア工具を能力の低いものに交換するか、使用する時間を短くして断続使用してください。

⚠ 警告

クイックカップラの接続を解除する時、ホース内圧の反動でホースが飛び跳ねることがあります。ホースをしっかりと保持してからクイックカップラの接続を解除してください。

4. 停止

- (1) 運転スイッチを「切(OFF)」(レバー上向き)にします。
- (2) コンプレッサーの電源プラグの成形部を持ってコンセントから引き抜きます。
- (3) ドレンコックを「開」(レバー下向き)にして水抜きと共にエアタンク圧力を開放します。

⚠ 注意

エアタンク内に溜まった凝縮水はその日のうちに抜いてください。
水抜きを怠りますと、タンク内に蓄積されてタンクの容量が減少します。
運転スイッチ以外でコンプレッサーを停止させないでください。
分電盤のスイッチや電源プラグの引き抜きなどで停止させると、次回運転時にスターティングアンローダが作動せずに正常に回転しないことがあります。

5. 運搬

運搬中は立積みを守ってください。オイルゲージが空気穴つきなので、横積みするとオイル漏れの恐れがあります。

6. 長期保管

- (1) 長期間使用しない場合は、コンプレッサーオイルを新しいオイルと交換し、ドレンコックを「開」(レバー下向き)にしたままで暖機運転を約5分間行ってください。
- (2) ドレンコックを「閉」にし、コンプレッサー、エアータンクの外部をオイルのしみた布で清掃します。
- (3) ビニールカバーなどのホコリ除けを被せて、ホコリや湿気の少ない所に保管します。

6. 保守・点検

警告

点検・整備の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、エアータンクの圧力を開放してください。モーターが急に廻り出したり、外した部品が吹き飛ばされたりする恐れがあります。

1. エアークリーナーのエLEMENTの清掃

- エアークリーナーのエLEMENTが粉塵などで汚れていないか、運転50時間に1回位、取付けねじを緩めてクリーナーカバーを外し、ELEMENTを点検します。
- 汚れていたらELEMENTを外して石鹸水で洗浄後固く握って水を切り、良く乾かしてから元通りに組み付けます。汚れがひどい場合はELEMENTを交換します。

2. コンプレッサーオイルの交換

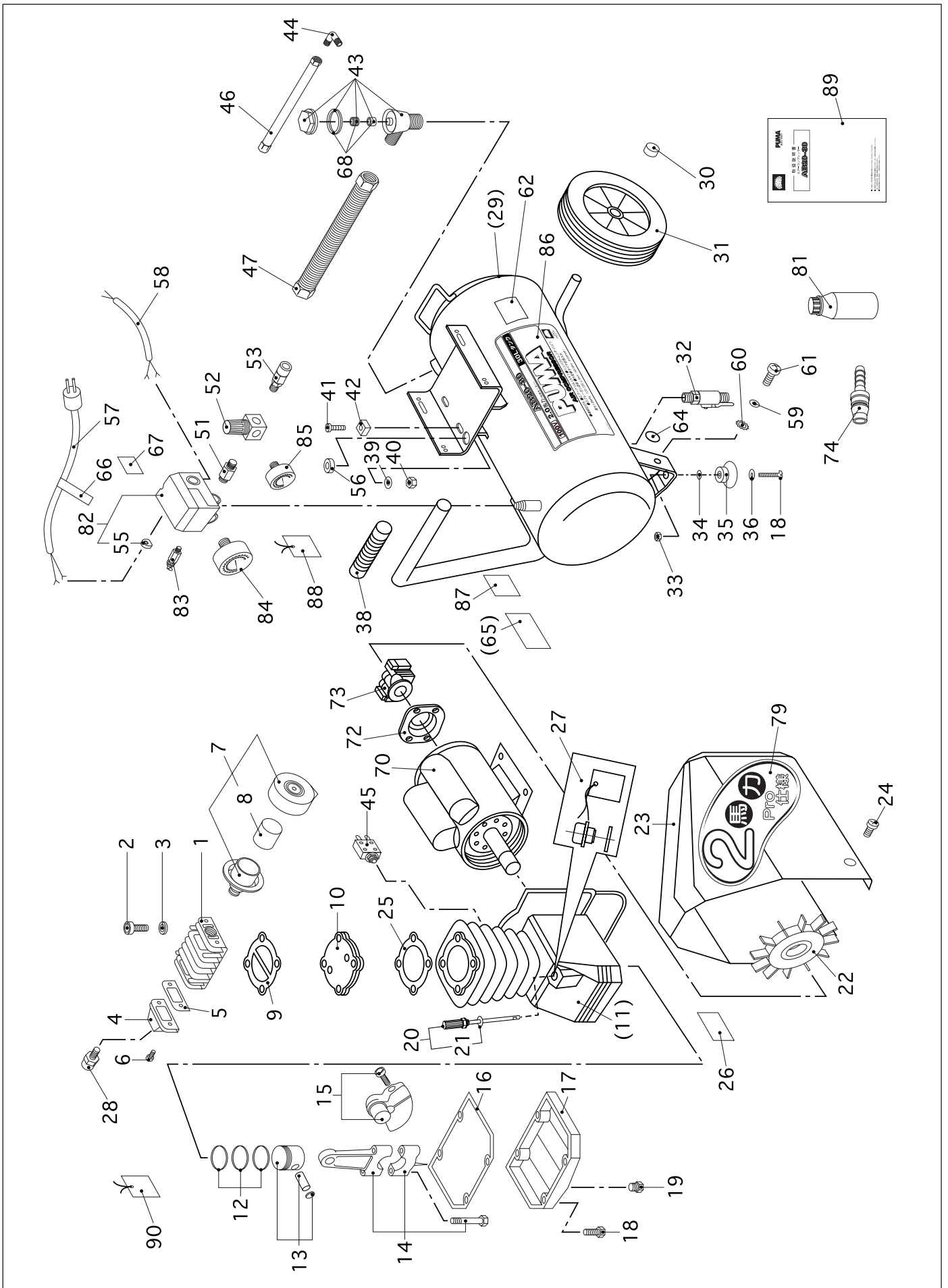
- 6ヶ月または、運転250時間毎に、オイルを全部抜き去り新しいオイルと交換します。但し、連続使用が多い時や粉塵などが多い所で使用する場合は、オイルの汚れ具合に注意して早めにオイル交換を行ってください。
- ドレンコックを「開」(レバー下向き)にし、約10分の暖機運転後にモーターを停止して、オールドレンプラグをねじ戻して外しオイルを全部抜き去ります。この時オイルがエアータンクに垂れて汚れるのを防ぐため、大きめのビニール袋などでクランクケースの底部をスッポリ覆ってオイルを受けると便利です。
- オールドレンプラグのねじ部に市販のシールテープを巻き付けて、元の位置にしっかりと締め付けます。
- ドレンコックを「閉」にします。
- 指定オイル(品番: 4930345107538) 1本(300mL)または市販の往復動ピストン用コンプレッサーオイル(ISO 68グレード)を300mL注入し、オイルゲージで油面がオイルゲージ棒の目盛りの「H」と「L」の間になっていることを確認します。
- オイルゲージにOリングが付いているのを確かめて、注入口にしっかりとねじ込みます。

7. 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず、修理を依頼する前に次の点をお調べください。

(注：0.1MPa 1気圧 1kgf/cm²)

こんなときには	調べるところ	直しかた
アウトレットバルブからの エア放出が止まらない。 (空タンクから運転した時) モーターが回らない。	約0.3MPa(約1分後)になると止まるか。	これは異常ではありません。 スターティングアンロード効果増大のため閉弁圧を 高くしたためです 再起動時には瞬時に放出は止まります。
	電源プラグが外れていないか。 コンセントのブレーカーが切になって いないか。	電源プラグをコンセントに差し込む。 ブレーカーを入にする。 ブレーカーの容量は15A以上か。 不足していたらコンセントを変更する。
	運転スイッチが切になっていないか。 リセットボタンが飛び出していないか。	運転スイッチを自動にする。 コンセントの電気容量不足です。 なるべく電力メーターに近い15A以上のコンセント に変更してからリセットボタンを押し込む。 20Aコンセントの使用をお勧めします。 延長コードの細すぎ又は長すぎです。 2mm ² は10m以下、3.5mm ² は20m以下にする。 コードリール使用時はコードを全部引き出す。 運転スイッチを一旦切にしてから自動に戻す。
	運転スイッチ以外でコンプレッサーを停止 させていないか。	
	移送用キャップのまゝで運転していないか。 コンプレッサーオイルが入っていないか、 又は、オイルゲージ棒のL目盛り以下に なっていないか。	付属のオイルゲージと交換する。 コンプレッサーの焼き付きです。 修理依頼する。 但し、修理費は高価です。
	エアータンク内の圧力が、約0.8MPa以上 ではないか。	これは異常ではありません。 圧力スイッチ作動中です。 約0.8MPa以下になれば自動的に再起動します。
エアータンク内の圧力が最高 圧力まで上らずにモーター が廻りっぱなしになる。	安全弁からエアが漏れていないか。 ねじ接続部からエアが漏れていないか。 エアークリーナーエレメントは汚れて いないか。 ドレンコックが開いていないか。 アウトレットバルブからエアが漏れて いないか。	ゴミ噛みかも。リングを引いてエアを出し、 ゴミを飛ばして見て、だめなら安全弁を交換する。 増締め、又は、シールテープ交換修理する。 エアークリーナーエレメントを清掃する。 汚れがひどい時は交換する。 ドレンコックを閉める。 ドレンコックを閉める。
エアータンク内の圧力が上が ってモーターが止まると圧力 スイッチからエアが漏れる。	圧力が下がってモーターが廻り始めると エア漏れが止まるか。	チェック弁を分解掃除する。 チェック弁を交換する。
エアにオイルが混じっ ている。	当社純正のコンプレッサーオイル、又は 往復動ピストン用コンプレッサーオイルを 入れたか。 移送用キャップのまゝで運転していないか。 コンプレッサーオイルはオイルゲージ 棒のH目盛り以上に入っていないか。 コンプレッサーの放熱が妨げられて過熱 していないか。 エアークリーナーエレメントは汚れて いないか。	指定通りのコンプレッサーオイル(ISO68)に 交換する。 付属のオイルゲージと交換する。 H目盛りとL目盛りの間になるまで コンプレッサーオイルを抜く。 風通しを良くして過熱を防ぐ。 エアークリーナーエレメントを清掃する。 汚れがひどい時は交換する。



AB20-30 部品表

見出番号	部品番号	名称	個数
1	3101042	シリンダーヘッド	1
2	2B01M06040VW	ボルト (六角穴)	4
3	2B33-M06	バネ座金	4
4	2N06-04H11	吐出エルボ	1
5	2G09-001	パッキン	1
6	2B01-M08*020	ボルト (六角穴)	2
7	2140006	エアフィルター-Assy	1
8	2142004	エアフィルターエレメント	1
9	2G01-015C	パッキン、シリンダーヘッド	1
10	3B13K50	In. & Ex. 弁Assy	1
11	3301061A	クランクケース	1
12	3B32-42	ピストンリングセット	1
13	3B31-42	ピストンセット	1
14	2315032	コネクティングロッド	1
15	3304076	クランクシャフト	1
16	2G08-001	パッキン、クランクケース	1
17	3349001	クランクケースベース	1
18	2B02-FM5*015	ボルト (六角穴)	6
19	2N33-001	オイルドレインプラグ	1
20	3339008A	オイルゲージ	1
21	2N52-30*12	O-リング	1
22	2336037D2	新タイプ (軸がD型)	1
23	2428003R	モーターカバー	1
24	2B02-FM5*010W	ナベコネジ (+)	6
25	2G03-008	パッキン、弁シート	1
26	2C05-014	ラベル (リセットボタン)	1
27	2319005A	キャップ (移送用)	1
28	2409012	アウトレットバルブ	1
29	3401286A	エアタンク	1
30	2B22-001	ホイールキャップ	2
31	2402018	タンクホイール	2
32	2413010	ボールバルブ	1
33	2B21-PM05	ロックナット	2
34	2N48-001	アイレット	2
35	2433005	ダンパー	2
36	2B30-05*14*10	平座金	2
38	2432004	ハンドルグリッブ	1
39	2B30-08*18*12	平座金	4
40	2B21-PM08	ロックナット	4
41	2B08FM0830	モーターボルト	4
42	2439001	シートブロック	4
43	2414025	チェック弁Assy	1
44	2N06-01T02H	アンローダエルボ	1
45	2E25-16AE	サーキットプロテクタ (16A)	1
46	3B202580T	アンローダパイプセット	1
47	3B204440	吐出管セット	1
51	2N01-045	ニップル	1
52	2408008LN	圧カレギュレータ (右出口)	1
53	07SMO2A-B	ワンタッチカプラ R1/4 (PTI/4おねじ)	1
55	2E04-008	ブッシュ	1
56	2E04-101	グロメット	1
57	2E01-024	電源ケーブル	1
58	2E02-2T20502Y2T	モーターケーブル	1
59	2B35-FM05	歯付座金 (外歯)	1
60	2B32-006	平座金	1
61	2B02-CM5*010	スクリュー	1
62	2C04-012	ラベル (警告)	1
64	2C05-013	ラベル (アース記号)	1
65	2C02-042A	ラベル (MFG. NO.) AA15-30	1
66	2C04-027	ラベル (注意)	1
67	2C05-018	ラベル (AUTO/OFF)	1
68	2414025K	チェック弁体キット	1
70	2E28-300F2540	コンデンサー (300) (回転)	1
72	2E24-062P	遠心スイッチプレート	1
73	2E24-142P	遠心スイッチウエイト	1
74	07PH2A-B	ワンタッチプラグ 1/4" (ホース口7mm)	1
79	2C01-111	ラベル (モーターカバー)	1
81	2Q01-465C	コンプレッサオイル (300mL)	1
82	3E21029BJA	圧カスイッチ (10K)T	1
83	2406018T	安全弁 (10K)	1
84	2D12-20D14MPA	圧力計 (大) 1.4MPa	1
85	2D12-15D14MPA	圧力計 (小) 1.4MPa	1
86	2C01164	ラベル (AB20-30)	1
87	2C05-077A	ラベル (スベック/AB20-30)	1
88	2C12016A	タグ (エアツール/AA15, AB20)	1
89	2C03-066A	取扱説明書 (AB20-30)	1
90	2C04-041A	ラベル (アウトレットバルブ)	1

注：1. コンプレッサオイル (300mL) は別売品です。付属品ではございません。

2. 部品番号が空欄のものは部品供給しておりません。

保証書

型式	エアコンプレッサー AB20-30	お買上げ日 年 月 日	保証期間 1年 (業務使用時は6ヶ月)
お客様	ご住所：〒 お名前： 電 話： - -		
販売店	ご住所：〒 お名前： 電 話： - - 印		

太線枠内に記入がない場合、またはそれに代わる資料の添付がない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買上げの販売店に本書をご提示の上、点検、修理をご依頼ください。

保証期間中でも下記の場合には有料修理となります。

- ・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ・お買上げ後の落下、運送等による事故及び損傷。
- ・火災・地震・落雷・その他天災地変・公害・煤煙・薬品・鳥ふん・塩害・異常電圧などによる故障及び損傷。
- ・車両・船舶などに搭載された場合の故障及び損傷。
- ・消耗部品・磨耗部品の交換、修理。
- ・保証書のご提示がない場合。
- ・保証書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がないか、それに代わる資料の提示がない場合、または、字句を書き換えられた場合。
- ・この保証書は日本国内においてのみ有効です。 **THIS WARRANTY IS VALID ONLY IN JAPAN.**

本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

発売元

 **藤原産業株式会社**

本 社	〒673-0403 兵庫県三木市末広3丁目8-61	Tel:0794-83-3131(代) Fax:0794-83-0897
東 京 支 店	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel:048-268-3939(代) Fax:048-268-9191
札 幌 営 業 所	〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目2の1山忠ビル	Tel:011-841-6007(代) Fax:011-841-7139
仙 台 営 業 所	〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在字東通り44-1	Tel:022-287-5739(代) Fax:022-287-5766
中 部 営 業 所	〒471-0861 愛知県豊田市八幡町3-4	Tel:0565-34-3339(代) Fax:0565-36-1550
近 畿 営 業 所	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel:0794-86-8210(代) Fax:0794-83-5160
広 島 営 業 所	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel:082-875-7211(代) Fax:082-850-0311
九 州 営 業 所	〒841-0056 佐賀県鳥栖市蔵上1丁目220	Tel:0942-81-2307(代) Fax:0942-81-2308
匠台商品センター	〒675-1322 兵庫県小野市匠台11-2	Tel:0794-64-0300(代) Fax:0794-64-0316
F . K . D . C	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目18-1	Tel:048-266-2811(代) Fax:048-269-9900

【関東デリバリーセンター】

当社製品の、ご相談は・・・

情報サービスセンター Tel:0794-86-8200 〒673-0433
Fax:0794-83-5160 兵庫県三木市福井2115-1